



学校経営管理全体計画<構想図>

令和8(2026)年度
栗東市立大宝東小学校

要求事項
○教育関係法規 ○学習指導要領 ○国・県・市の教育振興計画、教育指針 ○機関が求める取組

学校教育目標
心あたたか活気みなぎり 仲間と共に伸びゆく子
本年度の重点目標
1. 主体的・実践的に学ぶ子どもの育成に向けて、授業改善・授業力向上に取り組みます 2. 一人ひとりを大切に人権教育、特別支援教育を推進します

保護者・地域の願い
○確かな学力を身に付けてほしい ○明るく元気で思いやりの気持ちをもってほしい ○規範意識をもってほしい ○わか町、ふるさとを愛してほしい

本校の強み
○学校生活のきまりや生活習慣が身に付いている子が多い。 ○友だちと仲よくしようと意識している子が多い。 ○決められた学習課題等に対し、真面目に最後までやり遂げようとする子が多い。 ○保護者の教育に対する関心が高く、家庭の教育力も高い。 ○保幼小、地域との連携体制がある。

めざす子ども像
だれにでも優しい子 人を大切にする力 感謝する心
いきいき学ぶ子 主体的・対話的で深く学ぶ力
ひとつとつながる子 協働する力 コミュニケーション力
がんばりぬく子 忍耐力 チャレンジする力

本校の課題
○他者の目を気にしたり、失敗を恐れたりするため、新しいことに挑戦したり、自ら計画して行動に移すことが苦手な子がいる。 ○自己表現力が弱く、良好な人間関係を作りにくい子がいる。 ○安心して挑戦する場や、他者と交流してよかったと思える場づくりに努める必要がある。 ○子どもや保護者が相談しやすい雰囲気や教育相談体制を工夫する必要がある。

各部会が目指す具体的な子どもの行動 ※四つの部会を設置			
①こころづくり部	②まなびづくり部	③なかまづくり部	④くらしづくり部
☆周りの人が困っているときに気づき、自分から行動にうつせる子 ☆困っているときに自分から助けを求められる子 ☆相手の気持ちを考えて、人それぞれのちがいを認め合おうとする子	☆家庭学習に意欲的に取り組んでいる ☆いろいろな本を進んで読んでいる ☆Chromebookを学習活動で効果的に使っている ☆進んでコミュニケーションをとっている ☆自分の考えを表現することを楽しんでいる	☆決まった人とだけでなく、様々な人と関わっている ☆自分たちでより良い学校生活をつくるために意見を出し合っている ☆願いを実現するために自分たちで計画し、進めている ☆仲間と協力・協働して取り組む楽しさを感じている	☆進んで自分からあいさつをしている ☆どんな時も落ち着いて廊下歩行をしている ☆時間いっぱい隅々まで掃除をしている ☆安全に登下校をしている

保護者連携
○学校の取組に関わる情報を学校だよりや説明会等を通じてきめ細やかに発信する。 ○保護者懇談や地区別懇談会、登下校時等を通じて、日常的に子どもに関わる情報を共有する。

具体的な取組			
・子どもの人権感覚シート(こころぼかぼかシート)の実施 「なかよしの日」を充実させる取組 ・ぼかぼか人権作品掲示板の活用 ・積極的に研修に参加したり、人権に関する本を読んだりして教職員が最新の情報を積極的に取り入れる。	・学びグッズの活用と工夫 ・自主学習ノートを児童間で交流する「いきいきの日」の設定 ・自主学習ノートのHP掲載 ・教師の読み聞かせの実施 ・学年別図書コーナーの設置、朝読書を使った図書室利用の促進 ・Chromebookの積極的活用	・学級会の公開、学級会グッズの効果的な活用 ・学級での学びや意欲の高まりを生かす場を行事や委員会活動等で設定する。 ・委員会種別やクラブ活動において定期的にリーダーを育成する機会を設定する。 ・年に3回のペア交流・いこいスペースを異学年交流ができる場とする。	・R8年度はあいさつを中心に取り組む ・毎月、くらしづくり部から放送で発信し、行動を促す日(くらしの日)を設定する。 ・生活のめあて(あいさつ、廊下歩行、時間、掃除、給食)を学級で決めて、実行できるよう取り組む。 ・各委員会や他部会と連携しながら発信を行う。

機関連携
・発達支援課 ・家庭児童相談室 ・児童生徒支援室 ・少年センター ・草津警察署 ・学童保育所 等

大宝東学区保幼小連携会議
○月例で学区校園長会を実施し、連携を密にする。

めざす教職員像
・一人ひとりが自己有用感を得られ、温かく、いじめや差別を許さない学級づくりをめざす ・授業の中でつきたい力を明確にし、子どもの意欲を引き出すよう努力する ・教育実践上の課題を明確にし、自ら学び続ける ・子どもの思いや悩みを温かく受けとめ、根気強く関わる ・保護者、地域の願いを受け、全力で大宝東小のよさや伝統をつなぐ

地域連携
・自治会・地振協 ・民生委員・児童委員 ・コミュニティセンター ・スクールガード ・保護者ボランティア 等

栗東西中校区連携
○0歳から15歳までの一貫した子育て教育を目指して、市の「栗東子育て教育Nextプロジェクト」の取組を核に保幼小中が連携する。

経営方針
○子どもや保護者の声を丁寧に聴き、重要課題を見極め、方策を立てて組織で対応する ○「地域の中にある学校」を教職員全員が意識し、協力に感謝して協働する ○互いを尊重し合い、一人ひとりがいきいきと笑顔で教育実践や業務に励める職場づくりに努める